

令和4年(2022年) 1月13日(木) 13800号



## 株式会社 日刊金属

本社 大阪府北区天満2丁目12番地3号  
 ヴィレッジリバー南森町3階E号  
 TEL: 06-6353-7831  
 FAX: 06-6353-7832  
 MAIL: metal\_info\_osaka@nikkankinzoku.co.jp  
 WEB: https://home.nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円  
 6か月 38,880円 6か月 46,200円

一般社団法人  
 日本アルミニウム  
 協会



## 会長 木村 良彦

### 年頭挨拶

新年あけましておめでとうございます。年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染症の影響から需要回復の動きがありました。アルミ圧延品出荷量も前年比で増加し、特に自動車材の回復が顕著でした。半導体不足や東南アジアからの部品供給不足など懸念材料はありますが、一部自動車メーカーは今年1月の生産計画が過去最高水準になるとの報道もあり、アルミパネル採用車種の増加と相まって、今後も需要増が期待できます。半導体製造装置関連向けのアルミ材も好調を継続しており、また世界的なEVシフトへの加速化に伴い、リチウムイオン電池向け箔は過去最高を記録するなど、明るい材料が増えてまいりました。

一方、中国の電力制限を背景とするマグネシウムや金属シリコンなど副原料調達の懸念は、資源の中国偏在リスクを改めて認識する形となりました。足元は、昨年9月のような供給不安は和らいできたものの、中長期的には安定した調達が課題となっております。

また、米中貿易問題や中国の過剰生産能力の問題など、楽観視できない要素があり、世界で拡大している新型コロナウイルスの変異株の動向も気になるところです。

こうした中、協会事業として「アルミニウムV I S I O N 2050」実現に向けた取り組みに引き続き注力致します。昨年度、資源循環(リサイクル)については、アルミ展伸材における循環アルミ使用率50%を目指すため「アルミ循環委員会」を設置し、「自動

車」、「アルミ缶」、「スクラップ見通し」の分科会を立ち上げました。

本年は土台形成ということで、自動車分科会では、自動車材が循環アルミを使用できるように、循環アルミの不純物を低減する取組みや成分規格を新たに設定することを目指します。また、アルミ缶分科会では、U B C (使用済みアルミ缶)の輸出抑制のための方策検討を、スクラップ見通し分科会では、将来のスクラップ発生量を推測する手法の確立に取り組んでまいります。

展伸材のアルミニウムの循環率を高めていく上で鍵となる「不純物低減」と「不純物無害化」の2つの技術課題については、材料メーカー、大学、国の研究所に加え、自動車会社などのユーザー企業にも参画頂き、国家プロジェクトとして実用化に向けた研究開発を行います。

政府の方針に従って、カーボンニュートラルに向けた取り組みも進めてまいります。政府は2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」を目指すことを宣言し、2021年4月には「2030年に2013年度比46%のCo2削減」という新たな目標を表明しました。また、経団連では、「低炭素社会実行計画」を2021年度から「カーボンニュートラル行動計画」と改め、2050年に向けたビジョンの策定と2030年目標の見直しを各業界に求めています。これを受けて、当協会では2020年3月に策定した「アルミニウム圧延業界の温暖化対策長期ビジョン(2050)」を基本として検討を進め、「アルミニウム圧延業界の2050年カーボンニュートラルに向けたビジョン」および「2030年目標」について年毎に公表する予定です。

協会事業の3本柱であります「新規需要の開拓」、「広報活動の強化」、「人材育成の強化」にも注力するのは言うまでもありません。

「新規需要の開拓」については、産業用熱交換器向けアルミ材の開発について、N E D Oの先導研究を2021年度以降2年間継続しており、給湯器や化学プラントなどの熱交換器に需要を開拓したいと考えております。(2面へ続く)

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>



「人材育成」については、会員企業の技術者・研究者を対象とした「中核人材育成講座」を今年度は初めてオンラインで開催しました。材料、溶解鋳造、熱処理、加工の4コースとも多くの受講者があり、大きな混乱もなく無事に終了致しました。本年は対面での開催を前提としつつ、コロナ感染の状況によってはオンラインにするなど、柔軟に対応したいと考えております。

また、大学への研究助成を通じ、業界の将来を担う人材の発掘と育成を図っていく活動についても引き続き注力し、会員企業の研究者・技術者が講師となって大学への出張講座も継続して取り組んでまいります。

「広報活動の強化」については、ツイッター、フェイスブックなどソーシャル・メディアの積極的な活用を進めております。特にツイッターは、缶や自動車など消費者の身近な分野におけるアルミ関連の最新情報を定期的に更新しております。新たに始めたクイズキャンペーンでは初回に800名を超える応募を頂き、フォロワー数も飛躍的に増加しました。また、昨年より新たな取り組みとしてアルミ缶のリサイクルをテーマに「アルミ缶アートコンテスト」と称し、アルミ缶を使った造形物やポスター、写真、動画などを募集し、多数の応募を頂きました。こうした活動を通じて、少しでもアルミニウムの裾野を広げていければと

考えております。

改めて申し上げるまでもなく、安全は全てに優先する事項であります。「製造業安全対策官民協議会」を通じた産業安全への取組みにより、災害発生の低減に努めてまいります。意欲ある大学との産学連携、標準化事業などの重要事業も、継続して取り組んでいく所存です。

SDGsやカーボンニュートラルに関連して環境問題、リサイクルがクローズ・アップされている昨今、優れたリサイクル性を有するアルミニウムの特性が注目され、他素材からアルミ製品に切り替える動きが出つつあります。こうした流れが続くことで少しでもアルミニウムの需要拡大に繋がればと考えます。

最後に、日本のアルミ産業の益々の発展、そして今年一年が素晴らしい一年となることを祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

銅・非鉄金属地金全般

## 株式会社 オカモト

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

## 関西電線販売業協同組合

理事長 西村 元秀

### 年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は、ご関係各位より大変ご厚情を賜り誠に有り難うございます。

本年も、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

さて昨年は、開催が心配されておりました東京オリンピック・パラリンピックが無事終了し、年後半になってようやく新型コロナウイルスの感染拡大にも歯止めが掛かり、また新政権による社会全体のリセットにより、明るい兆しが見えてきたのではないかと思います。

また一方では、テレワーク等の拡大によるリモート・ビジネスへの移行が顕著で、集合による会合等の減少により、業務の効率化が進みました。こうした新しい動きはコロナ後も残っていくと思います。ホテルや鉄道・航空便の利用も感染の収束で徐々に回復に向かっていくものと思います。

このような環境下において、当組合の活動も前年度に引き続き年間予定の行事は、ほぼ全て中止を余儀なくされました。一方では、前年度より徐々に定着化している定例会議等のリモート開催は、コロナ対策はもとより、日常業務の効率化に少なからず寄与しました。

そこで2022年は、新政権に大いなる期待を込め、新型コロナウイルスの早期終息と経済回復、さらには2025年の「大阪・関西万博」の成功、そしてその後の大阪IR推進に向け、大きく前進する年としたいものです。

このため、当組合と致しましても、明るい兆しが見え始めたこの局面に、一丸となって前進すべく、業界の共通課題である商慣習の改善、物流面の効率化等に積極的に取り組み、適正利潤の確保、更には流通業の存在意義向上を目指すと共に、従来にも増して、顧客サービスの向上に努めたいと考えております。

また、組合運営においては、福利厚生面、定例懇親会、各種の行事やセミナー等について、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、SDGsなどの新しい課題にも取り組みればと考えております。

本年も、ご関係各位のさらなるご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、新年に当たり、皆様方のま

アルミニウム地金

アルミニウム原料

熟練ポット炉技術で歩留まり UP!

## 井関金属株式会社

代表取締役 井関親亮

〒587-0021 大阪府堺市美原区小平尾 407

☎ 072-361-3333 fax 072-362-7667

## 銅管事業から撤退へ

### 三菱マテリアル・神戸製鋼所

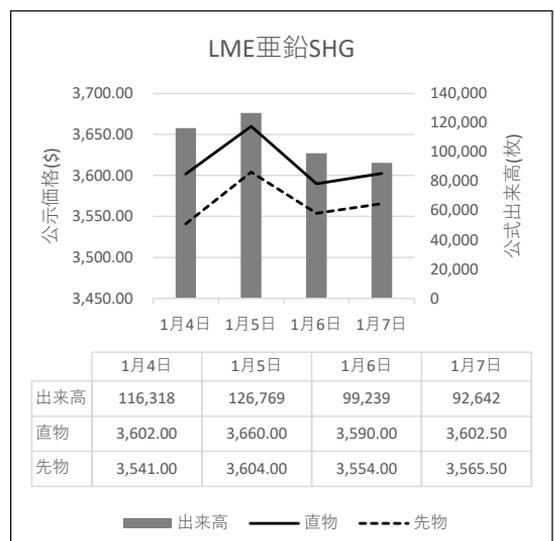
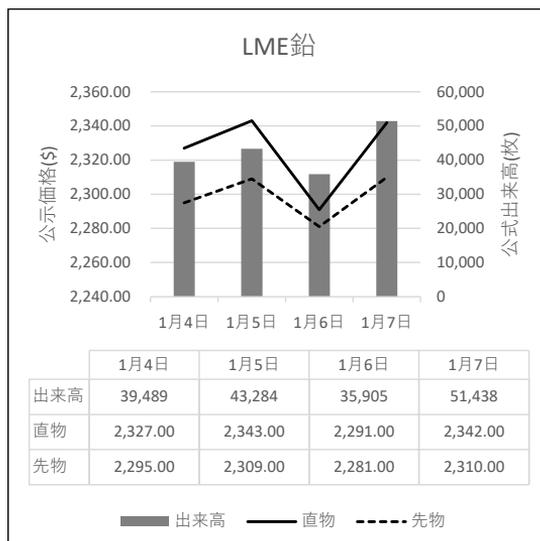
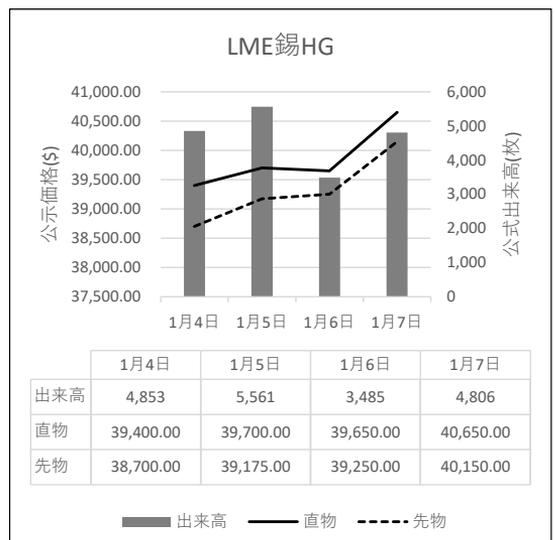
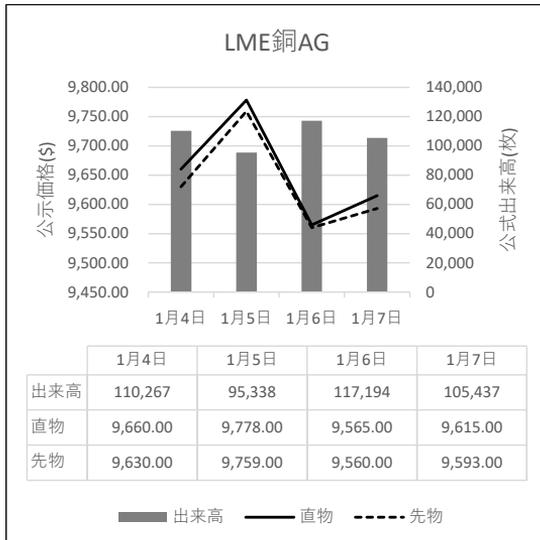
三菱マテリアル株式会社と株式会社神戸製鋼所はこのほど、共同出資している銅管事業の株式会社コベルコマテリアル銅管(KMCT社)の全株式を、投資ファンドの丸の内キャピタル(東京都千代田区)の特別目的会社エムキャップ七号株式会社(MCAP社)に譲渡すると発表した。株式譲渡は2022年3月31日の予定。

神戸製鋼所は同時に、90%出資する銅管子会社の神戸製鋼メタルプロダクツ(北九州市)の全株式をMCAP社に譲渡すると発表した。神戸製鋼は2つの子会社の譲渡で、また三菱マテリアルはKMCT社の譲渡で、ともに銅管事業から撤退することになる。

KMCT社は、神戸製鋼の銅管製造・販売事業を統合して2004年4月に設立され、日本・東南アジアを中心とした空調用銅管、建築・給水給湯用銅管などの製造・販売を手掛けてきた。しかし、海外製品などとの競争が厳しくなり収益貢献が低いため銅管事業を見直すこととした。

KMCT社の株式譲渡は2019年9月に決定していたが、新型コロナの影響により2020年12月に実行を中止していた。三菱マテリアルは発行済株式の45%を、神戸製鋼所は55%をそれぞれ譲渡する予定。

### LME公式値週間推移 2022年1月4日~7日(現地)



アルミニウム屑・銅・真鍮・ステンレス  
各種非鉄金属屑

## 株式会社原田商店

代表取締役 原田靖章  
〒547-0002 大阪市平野区加美東6-14-30  
TEL 06-6793-8128 FAX 06-6793-8128

# 故銅市況

12日朝入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の9,665.00ドルより3.00ドル安の9,662.00ドル。直物の終値は、前営業日の9,574.00ドルより160.50ドル高の9,734.50ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,641.00ドルより9.00ドル安の9,632.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,563.50ドルより156.00ドル高の9,719.50ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)の銅相場3月限は、前営業日の435.20セントより7.70セント高の442.90セント。SHFE(上海期貨交易所)の銅相場2月限は、前営業日の6万9,730元より160元安の6万9,570元。

12日の東京為替市場TTSレートは、前日より横ばいの1ドル=116.34円。12日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は9,662.00ドル。この値と12日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日より横ばいの116万2,000円。この日、電気銅建値は116万円に据え置かれた。

## 故銅直納問屋筋の平均値頃感(単位は千円)

(1月7日更新)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が894~899、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは859~864、並銅は824~834、込銅(高品位=約97%)は814、セパは669~674。コーペルは要り用筋で610、それ以外は595ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋620、それ以外590~600どころの値頃。並青銅鋳物削粉は721~726どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が874~894、上銅新くずが839~859、普通上銅が814~834、2号銅線が806~826、並銅が804~824、込銅(94-97%)が752、込銅(90-93%)が754、下銅が426~476、セパが634~669、コーペルが550~595、黄銅棒地が545~590、黄銅削粉が540~585、黄銅ラジが505~513、交叉ラジが469~526、黄銅鋳物が471~478、送りが267~286、上青銅鋳物が718~738、並青銅鋳物が698~713、上青銅鋳物削粉が713~733、並青銅鋳物削粉が688~708どころ。

## アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

### 関東地区(1月前半)

2S=235円~250円、63S=219円~245円、アルミホイール(1P)=131円~240円、ビス付サッシ=147円~151円、エンジンコロ=180円~163円、込合金(機械鋳物)=158円~161円、缶プレス(ソフト)=131円~136円。

### 関西地区(1月前半)

2S=202円~205円、63S=205円~208円、印刷版=195円~198円、アルミホイール(1P)=176円~186円、ベースメタル=184円~188円、機械鋳物=131円~134円、ダライ粉=110円~113円、ビス付サッシ=118円~123円、缶プレス=118円~120円。

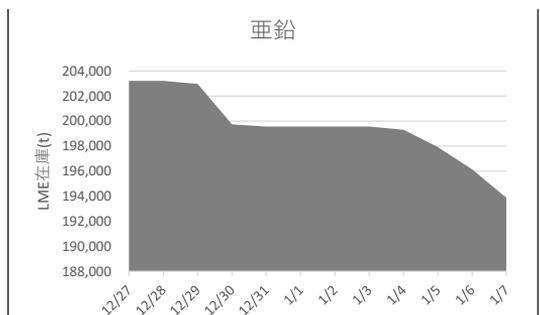
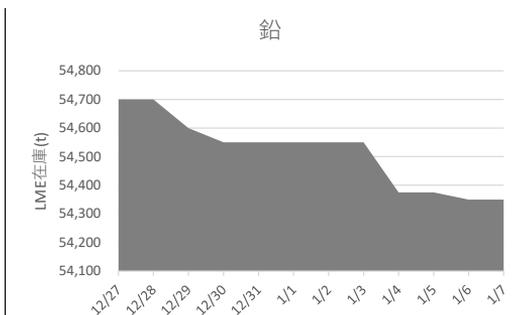
## 為替動向

11日、ロンドン外国為替市場の英ポンドは対ドルで反発。16時、前日と比べ0.0040ドルのポンド高ドル安、1ポンド=1.3600ドル~1.3610ドルだった。英中銀の利上げ観測が根強く、ポンドが買われた。FRBパウエル議長の米上院公聴会での発言もポンド買いドル売りを促す結果となった。ユーロも対ドルで反発。同じく0.0030ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.1340ドル~1.1350ドルだった。

11日のニューヨーク外国為替市場で円相場は5営業日ぶりの反落となった。前日と比べ0.10円の円安ドル高、1ドル=115.25円~115.35円だった。11日、FRBのパウエル議長は上院公聴会の議会証言で資産圧縮を年内に始める可能性があると言ったが、市場では金融引き締めの前倒し観測が既に広がっていたこともあり特段に材料視はされなかった。米国の株式市場では主要株価指数がそろって上昇。円を売りドルを買う動きにつながった。ただ、円と同様にリスク回避時に買われ易いドルも幅広い通貨に対して売られたため、円の値は限られた。

12日早朝の東京外国為替市場で円相場は下落していた。8時30分、前日17時と比べ0.10円の円安ドル高、1ドル=115.35円~115.36円だった。11日、米国の株相場は上昇、日本の株式市場でも反発が見込まれ円売りが先行した。

## LME認定倉庫在庫推移 2021年12月27日~2022年1月7日(現地)





LME銅相場は小幅反落も終値は反発、直物は9,734.50ドル  
 COMEX銅相場は反発 SHFE銅相場は反落  
 LME非鉄相場は総じて堅調 ニッケルは高騰、3営業日でおよそ6%高



12日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、1月11日入電の9,665.00ドルより3.00ドル安の9,662.00ドル。3営業日ぶりの反落で0.03%安。この週0.49%の上伸。1月に入って0.31%の下落。3か月物の前場売値は、1月11日入電の9,641.00ドルより9.00ドル安の9,632.00ドル。3営業日ぶりの反落で0.09%安。この週0.41%の上伸。1月に入って0.52%の下落。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地1月10日の8万4,025トンより100トン減の8万3,925トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、1月限が、1月11日入電の434.45セントより7.60セント高の442.05セント。反発して1.75%高。この週0.40%の上伸。1月に入って0.77%の下落。2月限は、1月11日入電の434.65セントより7.70セント高の442.35セント。反発して1.77%高。この週0.42%の上伸。1月に入って0.82%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、1月限が、1月11日入電の6万9,740元より140元安の6万9,600元。反落して0.20%安。この週0.26%の上伸。1月に入って0.49%の下落。中心限月に当たる2月限は、1月11日入電の6万9,730元より160元安の6万9,570元。反落して0.23%安。この週0.33%の上伸。1月に入って0.78%の下落。

**錫は反発**

LME錫相場の前場売値は、直物が、1月11日入電の4万0,425.00ドルより275.00ドル高の4万0,700.00ドル。反発して0.68%高。この週0.12%の上伸。1月に入って2.69%の上伸。3か月物の前場売値は、1月11日入電の4万0,100.00ドルより300.00ドル高の4万0,400.00ドル。反発して0.75%高。この週0.62%の上伸。1月に入って3.32%の上伸。

LME公認倉庫の錫在庫は現地1月10日の2,070トンより15トン減の2,055トン。

**鉛も反発**

LME鉛相場の前場売値は、直物が、1月11日入電の2,303.00ドルより2.00ドル高の2,305.00ドル。反発して0.09%高。この週1.58%の下落。1月に入って1.01%の下落。3か月物の前場売値は、1月11日入電の2,289.00ドルより1.00ドル高の2,290.00ドル。反発して0.04%高。この週0.87%の下落。1月に入って0.04%の上伸。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地1月10日の5万4,325トンより125トン増の5万4,450トン。

**亜鉛は続落**

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、1月11日入電の3,576.50ドルより36.50ドル安の3,540.00ドル。2営業日の続落で1.73%安。この週1.73%の下落。1月に入って2.48%の下落。3か月物の前場売値は、1月11日入電の3,545.00ドルより28.00ドル安の3,517.00ドル。2営業日の続落で1.36%安。この週1.36%の下落。1月に入って0.62%の下落。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地1月10日の19万2,625トンより2,300トン減の19万0,325トン。

**アルミは続伸 アルミ合金は横ばい 北米特殊は続伸**

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、1月11日入電の2,923.00ドルより27.00ドル高の2,950.00ドル。6営業日の続伸で3.58%高。この週1.04%の上伸。1月に入って5.13%の上伸。3か月物の前場売値は、1月11日入電の2,934.50ドルより27.50ドル高の2,962.00ドル。6営業日の続伸で4.83%高。この週1.02%の上伸。1月に入って5.41%の上伸。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地1月10日の91万1,500トンより万8,650トン減の90万2,850トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、1月11日入電より横ばいの2,300.00ドル。この週横ばい。1月に入って6.98%の上伸。3か月物の前場売値は、1月11日入電より横ばいの2,300.00ドル。この週横ばい。1月に入って6.88%の上伸。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、1月11日入電の2,776.00ドルより9.00ドル高の2,785.00ドル。6営業日の続伸で3.15%高。この週1.05%の上伸。1月に入って9.22%の上伸。3か月物の前場売値は、1月11日入電の2,758.00ドルより9.00ドル高の2,767.00ドル。2営業日の続伸で1.02%高。この週1.02%の上伸。1月に入って8.94%の上伸。

**ニッケルも続伸、10年ぶりの高値**

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、1月11日入電の2万1,045.00ドルより635.00ドル高の2万1,680.00ドル。3営業日の続伸で5.86%高。この週4.61%の上伸。1月に入って3.61%の上伸。3か月物の前場売値は、1月11日入電の2万0,900.00ドルより600.00ドル高の2万1,500.00ドル。3営業日の続伸で5.60%高。この週4.34%の上伸。1月に入って3.61%の上伸。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地1月10日の9万9,954トンより210トン減の9万9,744トン。

LME公示価格(US\$)／1月11日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	9,662.00	40,700.00	2,305.00	3,540.00	2,950.00	2,300.00	2,785.00	21,680.00
	前営業日比	▲ 3.00	275.00	2.00	▲ 36.50	27.00	0.00	9.00	635.00
先物	公示価格	9,632.00	40,400.00	2,290.00	3,517.00	2,962.00	2,300.00	2,767.00	21,500.00
	前営業日比	▲ 9.00	300.00	1.00	▲ 28.00	27.50	0.00	9.00	600.00

海外非鉄金属相場

(1月12日 入電・現地 1月11日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル) and rows for current prices, previous day prices, and high/low prices.

Table for NY Comex market (NY コメックス相場) showing prices for Gold (金), Silver (銀), Platinum (プラチナ), and Palladium (パラジウム) with various contract terms.

Table for LME (円ベース/キロ) and COMEX (銅) prices, including a section for Shanghai market (上海相場) with prices for Copper, Aluminum, Lead, and Nickel.

Table for Free Market (フリー・マーケット) including US Producer Prices (米国生産者価格), NY Market (NY相場), London Market (ロンドン相場), KLT M Lead (K L T M 鉛), LME Inventory (LME 在庫), Shanghai Inventory (上海在庫), LME Pre-market (LME プレマーケット), and Shanghai Market (上海相場).

非鉄金属製品相場

(1月12日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1430	1345	亜鉛板0.3×3×7	620	620	<b>V V F</b>
建築用0.3ミリ	1480	1395	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 52~54
銅大板2×1×2	1560	1545	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 93~96
銅管(ベース)	1530	1525	鉛板1.5ミリ	560	560	3C×1.6 96~99
水道用管(m当たり)13ミリ	1440	1435	鉛線3ミリ	460	460	3C×2.0 143~146
銅棒25ミリ	1360	1335	<b>軽圧品</b>	大阪	東京	<b>I V</b>
銅条1.5×100	1400	1365	アルミ箔0.007ミリ	◎ 1075	1035	1.6mm 29.8~31.7
銅線0.9ミリ	1450	1405	〃 小板1ミリ	◎ 710	665	5.5sq 81.3~86.4
銅帯6×50	1380	1345	〃 大板1ミリ	◎ 690	655	14sq 203~216
銅平角線	1650	1575	〃 5052板	◎ 745	705	<b>CV-T</b>
黄銅小板2.0ミリ	1170	1105	〃 5083板	◎ 760	720	600V 3C×38 1543~1640
〃 0.3ミリ	1200	1135	〃 2017板	1200	1265	600V 3C×60 2372~2522
黄銅大板2×1×2	1320	1285	〃 線3ミリ	◎ 725	655	600V 3C×100 3986~4237
黄銅管	1660	1565	〃 快削棒50ミリ	◎ 910	870	6kV 3C×38 2484~2638
復水器用黄銅管	1630	1545	〃 合金棒50ミリ(17S)	◎ 895	850	6kV 3C×60 3453~3667
黄銅棒快削25ミリ	970	940	〃 合金棒50ミリ(56S)	◎ 850	810	<b>CVV</b> (関西-関東)
六角棒	1000	970	<b>貴金属(一般小口向け)</b>			3C×2 123-126
四角棒	1030	1000	白金(グラム)	◎ 4066		4C×2 164-168
鍛造用	1010	980	パラジウム(グラム)	◎ 8041		6C×2 234-239
ネーバル	1110	1080	金(グラム)	◎ 7474		7C×2 267-274
高力	1110	1080	銀(キログラム)	◎ 96140		<b>合金鉄</b> 11月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1375	1315	<b>レアメタル輸入価格</b>	11月通関 (CIF)		フェロマンガ2%以上炭素含有 195
黄銅平角線ロール仕上	1575	1525	金属ケイ素(99.99%未満)	907		〃 その他 -
黄銅条1.5×100	1170	1125	モリブデン酸化物	3174		フェロシリコン55%以上 286
リン青銅板一般用1.0ミリ	2610	2770	タンタル	41311		フェロクロム4%以上炭素含有 191.5
〃 パネ用0.3ミリ	2870	3030	マグネシウム	456		フェロモリブデン純分60%以上 3194
リン青銅棒25ミリ	2710	2890	コバルト	6437		フェロバナジウム 2816
リン青銅線3ミリ	3040	3210	インジウム	26891		フェロニッケル33%未満 504.2
洋白板一般用1.0ミリ	3400	3440				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 パネ用1.0ミリ	3520	3560				

減摩合金	1月5日改定	銅合金地金	1月6日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	5270	BC 1種	1180
2種	5100	2種	1520
3種	4925	3種	1615
4種	4310	6種	1290
5種	4155	7種	1405
7種	1360	YBSC 3種	1040
8種	1155	LBC 3種	1555
9種	1000	PBC 2種	1645

非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(1月12日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		40,000 ~ 43,000(1)		
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場			
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値	
1号銅線	1031	1031	電気銅	◎1139	◎1134	◎1141	◎1136	山元建値	電気銅 1160(7)	金 6,767(12)
2号銅線	979	—	電気亜鉛	442	436	442	436	( ) 実施日	電気鉛 330(4)	銀 85,710(12)
上銅(新切)	1008	996	蒸留亜鉛	430	424	430	424		電気亜鉛 460(11)	錫(99.99%) 5,950(4)
雑ナゲット	852	862	再生ダイカスト亜鉛2種	361	355	361	355			
並銅	929	929	再生亜鉛(98%)	314	308	314	308			
下銅	907	902	電気鉛	316	311	316	311			
銅削粉	909	905	再生鉛1号	292	283	293	288			
銅さい(30%)	25	25	再生鉛3号	297	292	298	294			
新切黄銅セバ	785	787	錫1号	◎4900	◎4850	◎4900	◎4850			
コーペル	750	745	アンチモン	1700	1650	1700	1650			
黄銅棒地	732	733	ニッケル(メッキ用)	◎2550	◎2500	◎2550	◎2500			
黄銅削粉	726	729	コバルト	9500	9200	9500	9200			
並黄銅	650	638	セレニウム	3300	3100	3300	3100			
黄銅ラジエター	585	565	ビスマス	1250	1150	1250	1150			
交叉ラジエター	596	595	カドミウム	480	430	480	430			
黄銅鑄物	655	—	水銀	1800	1700	1800	1700			
山送り(55%)	385	—	アルミ地金99.70%	◎387	◎383	◎389	◎385			
上青銅鑄物	804	—	アルミ二次地金99%	307	302	307	302			
並青銅鑄物	802	801	〃 90%	276	271	276	271			
上青銅鑄物削粉	797	—	アルミ二次合金ADC12	456	451	459	454			
並青銅鑄物削粉	787	789	鑄物用C2BS	481	476	483	478			
新切リン青銅(伸銅)	—	1056	青銅合金地金3種	1575	1565	1470	1460			
〃 (鑄物)	921	—	〃 6種	1255	1245	1190	1180			
リン青銅削粉	834	828	ハンダ錫60%	3560	3520	3580	3550			
新切洋白(電子材)	844	839	〃 50%	3065	3015	3085	3055			
新切亜鉛	172	172	〃 40%	2635	2575	2590	2560			
ダイカストくず	137	137	減摩合金2種	5090	5060	5095	5065			
亜鉛ドロス	115	126	〃 4種	4280	4255	4285	4255			
上鉛	108	106	〃 7種	1315	1265	1315	1265			
電池素鉛ケース込	20	20	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		125	125			
活字鉛	93	90		〃 ダライ粉		110	110			
新切アルミ1級	220	224		高耐食ステンレスSUS316		220	220			
新切サッシ1級	220	220		耐熱ステンレスSUS310		265	265			
新切合金1級	210	215		13クローム 新切		30	30			
機械鑄物1級	142	140		ハイス 9種		200	200			
ビス付サッシP	156	155								
合金削粉P	105	104								
込ガラP	100	96								
カン・バラ	137	133								

非鉄金属材料相場面

PW:KINZOKU2201